

平成 31 年 5 月 10 日

平成 30 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 生物資源学研究科

氏 名 中井 毅尚

活動テーマ	三重県の中大規模木造建築設計者の育成と空き家対策
実施期間	平成 30 年 5 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>◎三重県中大規模木造建築設計セミナーを三重県と開催し、建築設計者の育成を行った^{添付資料1}。</p> <p>◎亀山市住生活基本計画策定委員会の委員長として亀山市内の空き家の実態調査を行った。また、松江市の有形登録文化財に登録した空き家では、芸術家を募り、創作工房やギャラリー^{添付資料2}としての利活用を試みると共に、自治会の集会所としての利用を試みた。さらに、文化庁補助事業を利用して松江市と屋根改修工事を実施した^{添付資料3}。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>木材資源の地産地消、さらに最近では地産都消も叫ばれる中、木材資源を理解した建築士の育成は地域の発展・活性化に大きくつながる。一方、空き家対策は今後さらに拡大すると思われる全国的な問題である。個人資産であることが対策を遅らす大きな要因であるが、我々の試みは解決策の一つとして認められると思われる。</p> <p>これらの試みは、三重県に留まらず近隣県、さらには全国への波及効果も大きく、パイオニア的な試みである。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>非常に緊密な連携が取れており、次年度以降もさらに連携を強化して</p>

いきたい。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

◎H30 年度三重県中大規模木造建築設計セミナー

生物資源学部で学べる森林から獲られる建築材料としての木材や、木質材料・木質構造をベースに、「森林林業」、「木材製造流通」、「木材調達」、「木造建築概論」、「意匠設計」、「耐久性計画」、「木構造計画」、「防耐火計画」の講座を設け、セミナーに活かした。

◎空き家対策

中心市街地の空き家調査と地元住民も含めた観光客の動向と要望を卒業研究として学生と取り組み、空き家の利活用方法を調査し、その結果を、空き家対策に活かした。

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

◎H30 年度三重県中大規模木造建築設計セミナー

2019 年 1 月 18 日（金）：38 名（松坂飯南森林組合本所会議室）

2019 年 1 月 19 日（土）：38 名（松坂飯南森林組合本所会議室）

2019 年 2 月 1 日（金）：21 名（会場：三重大学生物資源学部 219 室）

2019 年 2 月 2 日（土）：21 名（会場：三重大学生物資源学部 219 室）

2019 年 3 月 12 日（火）：35 名（会場：三重大学生物資源学部附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設農場）

◎Connection

2018 年 11 月 2 日（金）～4 日（日）：延べ 127 名（村松邸（松江市））

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

※継続 4 年目以降（認定）の活動については、これまでの継続した取組みによって得られた具体的な成果について記述願います。